

新刊発行記念原画展



花の詩画集

足で歩いた 頃のこと

星野富弘



2017年8月29日(火)-11月26日(日) 会期中無休

※会期前の8/28(月)、会期後の11/27(月)は展示替えによる臨時休館となります。

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料:大人500円、小人300円、幼児無料 ※団体20名以上2割引、障がい手帳をお持ちの方と付き添いの方1名5割引

主催:富弘美術館

特別協力:偕成社

協力:いのちのことば社、学研プラス、グロリア・アーツ

後援:朝日新聞社前橋総局、桐生タイムス社、共同通信社前橋支局、群馬経済新聞社、
上毛新聞社、産経新聞前橋支局、時事通信社前橋支局、東京新聞前橋支局、
毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、FM GUNMA

富弘美術館
Tomihiro Art Museum

新刊発行記念原画展

花の詩画集

足で歩いた 頃のこと

星野富弘

学生の頃、私はリュックサックを背負い、
一日中歩き続けるような旅をした。
やがて歩けなくなる日が来ることを
予感していたかのように、ひたすら歩いた。
今私は、ゆつくりと絵を描いている。

それは学生の時の、あの一人旅と同じで、
小さな花の中にも広がる未知の世界を、
行く先もわからず歩き続ける旅である。



苺 (イチゴ) 2013年



静かなものと (ヤマアジサイ) 2016年



雨上がりの道 (キキョウ) 2013年

2017年6月、待望の星野富弘著、花の詩画集『足で歩いた頃のこと』(偕成社)が出版されました。63点の詩画作品とエッセイ16点が収録されています。本展はこの出版を記念しての展覧会となります。収録された詩画作品のすべてを展示。あわせて、エッセイの一部も紹介します。静かな生活のなかで見えてくる自然や人、そして自分自身についての、深みある新たな表現に驚かされます。創作活動を始めて45年が過ぎ、71歳になった星野。様々な境遇を乗り越え〈今を生きる〉ことから生まれた新作の数々をご鑑賞ください。

会期中のイベント

- フエルトクラフト 9.2(土) 9.16(土)
講師:のえ 午後1時30分～
- 楽しい陶芸 9.9(土)
講師:横田美砂子 午後1時30分～
- 季節の朗読会 10.1(日) 朗読:Lively
①午前11時30分～ ②午後1時30分～
- 弓場さつきオカリナコンサート 10.7(土)
①午後1時30分～ ②午後2時30分～
- オーブコンサート「コスモス」 10.21(土)
午後1時30分～
- ヴェネツィアンピースを使ってアクセサリーづくり
10.28(土) 講師:鷺見理恵 午後1時30分～
- 定期朗読会 9.23(土) 10.28(土) 11.25(土)
朗読:梶の会
①午前10時30分～ ②午前11時30分～
- 折り紙教室・缶バッジづくり
毎週の土曜日 指導:サポーター
午後1時30分～午後3時



星野富弘

1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の教諭になるが、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文字や絵をかきはじめる。1982年高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年、群馬県東村(現みどり市東町)に富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。

交通案内

- 北関東自動車道 太田藪塚I.C.から55分
- 関越自動車道 赤城I.C.から1時間20分
- 日光宇都宮道路 清滝I.C.から35分
- わたらせ渓谷鐵道 神戸駅下車、市営バスで10分



富弘美術館
Tomihiro Art Museum

やさしさにいつでも逢える

〒376-0302 群馬県みどり市東町草木86
TEL: 0277-95-6333 FAX: 0277-95-6100
E-mail: info@tomihoro.jp

URL: <http://www.city.midori.gunma.jp/tomihoro/>

次回展覧会のご案内

「第5回 詩画の公募展」

11月28日(火)～2018年2月25日(日)

※11月27日(月)は展示替えのため休館します。